

CHIT CHAT RADIO 子育て CHAT ROOM

2021年2月16日 13時21分～13時43分



ママ友付き合いは必要ですか？

「今回もリスナーの皆さんからお悩みが届いておりますので、先生にお伺いしたいなと思います。では亀谷さん、メッセージの紹介よろしく願います。」

「香川県内にお住まいのラジオネーム匿名ママさん(三十代女性)からいただきました。」

私は今六歳の子供を育てているんですが、仕事をしながらなので幼稚園や習い事のお迎えをおばあちゃんに頼むことが多いです。(匿名ママさんの実母)子どもはおばあちゃんと仲がいいのか嫌がる様子は無いんですが、最近おばあちゃんからママ同士の付き合いはどうしているのと聞かれました。近所で年の近いママや、昔からの友達で子供の年齢が一つ、二つ違うママとは付き合いもあり子供同士も仲がいいと思うんですが、正直仕事もあるのでそんなにママ友の付き合いに重きを置いていません。主人や数少ないママ友達からも別に気にしなくてもいいんじゃないかなと言ってもらっているんですけど、私自身無理にママ友付き合いを広げるのも正直少し面倒だなあとも思っています。子供の為にも、もっとママ友付き合いはしておくべきなんでしょうか。

これはちょうどこの時期でお仕事もなれているというところで悩ましいというところで、鈴木先生に色々アドバイスを受けたいと言っている中で、こういうメッセージを送ってくださいました。

「どうでしょうか。ママ友付き合いはママになると同時に発生するものですよね。鈴木先生は二人のお子さんのお母様でいらっしゃるのでも、ママ友たくさんいます。」

二十年前なので、メールもやつかける位の時代だから、LINEとかはもちろんないです。連絡は、例えば同じ幼稚園とかに行つて、そこで会って話すとかだったので、今みたいにLINEでひっきりなしに連絡が来るようなことかなくなりました。けど、私の年代は「のおばあちゃんの方に近くて、結構ベタベタと付き合いしている」が多かったです。例えば洋服とか靴とかをあげあったりとか家に預けあったりとか休みになると一緒に遊びに行ったり結構してたんです。

「前の方がもう少し密だったってことなんですね。」

—もちろんグループであったりとか、環境によって違うとは思いますが鈴木先生が見ている限り、そういう傾向が二十年前は強かったんですね。

そうですね。今の方がドライだと聞きます。

—SNSで情報を共有したりして、いつでも繋がれるので今は密で大変だろうなって思いますが、私は子どもはいないのですが、想像すると今は密で大変だろうなと感じますが先生はドライに感じてますか？

逆に今は付き合い合わなければもう付き合い合わないとか、距離をおこうとかそういう風にされたりするお母さん方もいますよね。

—もう二十年前の話であればもう時効ということでも、ママ友付き合いで鈴木先生はお悩みとかがあったりしたんですか？

私は案外あまり感じない人なんですけど、他のお母さんたちが例えば、旦那さん同士が同じ会社で上司と部下みたいな関係だったりするとそこでお母さん同士も上下関係ができたりして、そこであの人にごう言われたとか親同士でこんなこと言われたって聞いて私はへーって感じだったんですけど。

—社宅に住んでたりするとかそういう話はありませんでしたか？

—奥様もそういう面では「主人さんのことを考えながらだ」といろいろなところで気を使うんだなと思いますね。抑制がかかってくると思いますよね。もちろんすごくそれで助かったとか、嬉しかったっていうのもあるんですけどね。

—先生、ママ友付き合いで気を付けたいことはありますか？

普通の友達との付き合いと同じなんだろなとは思いますが、相手のことをあれやこれや詮索しないことだなっていうのは思っています。「主人の事とか実家の事とか、子供のこともそうなんですけどちょっと行動が気になるふうなだったら発達障害あるんじゃないのかなとかいろいろなことを聞いて回るのやめたほうがいいんじゃないかなと思いますね。

—これ大きなアドバイスですよね。もちろん男女それぞれのこのを定義づけてはいけないと思うんですけど、ただ男性よりも女性ってそういう傾向に比べて「フィーチャー」していき能力とか、みんなが集まって生活していく能力って高いと思うのですね。そういう傾向に気がづけばちややない

ですか。気づかないようにしよう、詮索しないでおごつと思いつつ、あらってちよつとした変化に気付いたりするというのが長所がありますよね。だからこそより難しいですよ。

そうですね。だから「主人が例えば子どもを迎えに来ていたりすると」「主人の仕事は？とかやつぱり気になっちゃって聞いたりするんですよね。言いたくないことかもあると思うんですけど。

一変に言わないと言えないのかなって思われたら嫌だから言わざるを得ないですよ。

どんどん噂になったりしちゃいますよね。

一京子さんは現役で子育てされてますけど

一ただうちの子どもは最近「ごも園になったんですけれども、もともとその保育園で、ごも園になったって言う事なんです、仕事をしてる人がほとんどなので朝のお迎えの時に「あごもー」って挨拶するだけって言う位なんで私的にはちよつと助かってるな一って思います。

一「コミュニケーション」っていつながりはあるんだけど、その後仕事があったり用があるんで、短時間で「お世話になってますーまたねー」「みたいな感じになりますよね。

一そうなんです。余分なことも聞かないし聞かれないしでちゃんと程良い距離感で成り立ってるんです。ただやつぱり保護者で集まって会をするとか、そういう時にちよつとずつ仲良くなっていて、もちろんグループができたりってことなんです、上のお兄ちゃんの時ですね今はもう小一ですけども、その時はクラスの親同士みんな仲が良くて、今は行けませんけど飲み会とかやつたら全員参加するんです。その後の二次会も全員いるみたいな感じだったんです。

でもそれちよつと無理する人もいるんじゃないですか？

一かもしれませんね。みんなグループのLINEに入ってそれで連絡しあうのですが、やつぱり連絡がマメな人もいればそういうのが苦手って言う人がいたりしますよね。苦手な人は「もうちよつと退出します」って言ってそのLINEから外れちゃったりとか。それもなかなか友達同士だと、LINE抜けるってなると、「なにゆー！」ってなる「ごも」もありがちだと思んですが、逆に「ごも」の「ごも」が苦手だったんだねってなると「ごも」が言える人がいて、その距離感が好きですよ。だから今も続いています。

一距離感大事ですよ。近いのが好きな人もいるし、ある程度距離取りたいって言う人もいま

でもお友達が何人が親しい人がいて、心地よく付き合える人がいるからそれでいいんじゃないかなと思うんですね。ママ友の役割ってどうか私たちが親になって必要なものってというのは、自分のこの気持ちを吐き出す、話を聞いてもらう人であるとか、理解者であったりとか頼れる人とかあとは情報を得るっていうがすごい大事です。

ーこれはそうですね。分からないことの連続ですから。

おじいちゃんばあちゃんは頼れる人ですよ。気持ちを話して共感してもらえたらなお良いけどできないこともあるので、その辺はやっぱり今同じ時間、この時に子供を育てている人が一番話をして共感してもらったり、理解してもらえらるって言う意味ではいそいそいうのって必要かなと思うんですね。情報っておじいちゃんばあちゃんのは古かったり、今だからあるものってありますよね。子育て支援センターとか子育て関係の情報であるとか。

ー確かにそうですね、習い事であったり今時だと、例えばコロナで休校になった時期にオンラインでこういうの無料でやってるよーとかそういう情報はママ友からでしか得ることがなくて熱心だなあって。私は結局オンラインのオの字もやらなかったんですけど。(笑)周りはそういう情報が回ってきたりして、参考になるなあなんて思いましたけれども、そういうのはおじいちゃんおばあちゃんよりはママ友からですよ。

ーただやっぱりおじいちゃんおばあちゃんからの情報でやっぱりそこは変わらずいつも時代も大事なことなんだなってこともあるんですけど、それ以外のところで同世代の同じ悩みを抱えている人からの情報は大きいですね。

大きいですね。ママ友って聞くと子供が小さいときのことって言うイメージがあるんですけど、自分の子どもが高校になってもクラブチームとかに入ってる、送り迎えとかするからやっぱりそこにたくさんママ友がいたわけなんです。でも私あんまり友達にならなかつたんです。皆さんはそこで集まってお喋りとかして楽しんでたんですけど、私は本当に送迎だけしてたんです。そしたらスポーツがすごくレブなものだったのでそれで推薦をもらって大学に行く子が結構いて、そういう重要な情報を知らずに受験を迎えたりして、これを一年生のころに知っていたら違ったのにーって。やっぱり情報を得るって言う意味でも付き合っいたらよかつたなって思いました。そんなこと言っってはいけないですけど。(笑)重要な情報源なんですよ、お母さん方は。

ーただ、推薦枠というのは限られてますから、もし一二つの情報を十人のお母さんが聞いたらそれはそれでチームのレギュラー争いじゃないですけど、またその中で競争というのが生まれてきて、もしかしたらやらせやへしやへししてしまっただ可能性もありますよね。

ーちよっと前の唇ドラみたいにドロドロになりそうですよね。だからやっぱり距離感ですよね。なかなかこれってもう難しいですし、この距離が正しいっていうのはわからないですけど、ここまでですって言語化できたらいのですが。なかなかそこは入ってみないと分からないですね。ママの話ばかりしてますけれど、最近は子育てに熱心なお父様、パパがいっぱい出てきてますけど、パパ友とかそっついうのはないんですかね？

ーあんまりイメージはないですけど、やっぱりあるんですけど…

パパ友ってあんまりみんな聞かないんですけど、例えば私が子育て講座をしたりするときに、最近はお父さんも来られる方が多いので、隣の人と話してくださいっていうことをするんですけどその時は夫婦でこられてるんだけど、夫婦では話さないでくださいって言うんです。他のお父さんとね、同性のお父さんと話してくださいって言うんですけど、結構盛り上がって、滅多にお父さん同士で自分の子供とか家族のこと話さないんだけどすごく楽しかったとか、他の家族のことを知れて、客観的に自分の子育てを見てよかったとか言うのがあってやっぱり望んでるのかなと思っただけです。他の人とコミュニケーションをとることかね。

ーなかなかパパ友付き合っていくというのは聞かないんですけど、うちの子ども園に関していうと最近お父さんの送り迎えが非常に多いです。子育てに積極的に参加されている人が増えてきたって印象があるので、パパ友会とかは盛り上がりそうですよね。

東京の方とかだったら子育て講座もお父さんのためのとかあるので、私もやってみたいです。仕事されているので週末とか平日の夜がいいのかなと思うのですが、他の人の声をなかなか聞く場がなかったりするので今は、会社で福利厚生で子育て講座とかさせていただいたりすると東京ではやったりするんですけど、会社の中でね。そうすると他のお母さんと話したりお父さん同士で家庭のことを話したり子供のことを話したり、どのくらい家事やってんだとか奥さんとどのくらい話してるかとかそっついうようなテーマを決めながら話していくというんな気がつきがあったりとかするので、そっついうのやってみたいです。

ー奥さんに任せっぱなしの人はちよっと自分いかなってこういう周りの情報から気づきにもなったりするかもしれませんね。

自分がすごいイクメンだと思ってたけど実はそんなことなかったとかよくありますよね。逆もありです。自分はすごいやってたって言うお父さんもいて。自分は奥さんになにもやってないってすごい叱られるんですけど、お父さんがいたんです。でも私たちから見るとすごい子どももの世話とかしてるから大絶賛したんです。そしたらすごく喜んで、家では褒められないけど

「」では褒められるって喜んで帰っていかれる方がいました。(笑)

「それは奥さんの操縦術というか、みんなこれやるって言ってたよーとか言ってた家事をやる方に上手く持っていく女性が増えていますよね。洗濯って普通に男性がやるって言ってたよって言われてどんどん自分の仕事増えていってでもまだまだやってないよーって言われて蓋開けてみたらめっちゃくちゃやってたとかよくありますよね。そういうのお互いが励ましあえるといいですね。でもママ友会ってどうしても最後は旦那の愚痴とかで盛り上がったりするんですけど、パパ友会が充実してくると奥さんの愚痴になるんですかね。(笑)

「それはそこから奥さんにバシチャウと取り返しのつかないことになるでしょう。(笑)ママ友付き合いそんなに無理にしなくてもいいけれども、やっぱり安心できたりだとか情報を得られたりとか悩みを同じような状況で共有することもできるんじゃないかってやっぱりママ友ってというのはありがたい存在であることには間違いないですよ。

そうですね。やっぱり理解してもらえたりとか子供の育ちを共感して楽しんだりとかできますよね。上手く付き合うために、例えば詮索しすぎないとか、相手の子育てに口をあんまり出さないことが大事です。価値観が違うなと思っててもこっちの方がいいとかこうすべきとかは控えた方がいいですね。

「やっぱり何度も出てきた間が大事ということですね。匿名ママさん、今のお話でアドバイスになりましたでしょうか。ママ友付き合いは間が大事と、ママ友の間が大事ですね。

え？

「距離感ですね。」にもいい距離ができてしまいました。(笑)「子育てCHATROOM」では、今回のように鈴木先生にちよっと聞いてほしい・相談したい子育てのアレコレを募集しています。「最近、」というところがある……」「こんな事言っちゃったけど、大丈夫かな……」など、小さなお悩みでも大丈夫です。CHATROOM宛にお送りください。メル・FAX・お葉書でも寄せください。